



顕彰祭にて =神田山緑氏による 講談「奉行と検校」の様子=

群書類従の版木を保管する公益社団法人「温故学会」から「塙保己一 ことども」と題した小冊子が刊行されました。温故学会のご協力により、掲載させていただけることになりました。子供からお年寄りまで、読みやすくわかりやすいお話です。

## 塙保己一 ことども (提供：公益社団法人 温故学会)

### 第六編 塙保己一の脅威の記憶力

保己一の記憶力は有名です。ひとつの例をあげてみましょう。文化七年六十五歳の時ですが、伊勢内宮にある林崎文庫と外宮の豊宮崎文庫の探訪をおこなっています。両文庫は数万冊の貴重な文献が収蔵されており、優秀な学者のもと研究が行われておりました。



理事長 齊藤幸一氏

保己一は『群書類従』を編纂する時、神宮を第一にと考え神祇部を最初の部門に取り入れ、神宮所蔵の書物七冊を収録しました。足代弘訓、蓬萊尚賢、中川経雅などといった学者と協議されたと思いますが、数万冊から七点に絞りこんだ学識には驚かされます。また、伊勢の豊宮崎文庫で講義をしたことがありましたが、そこに向かう途中に津の藩校有造館がありました。ここには中国の歴史書『資治通鑑』(司馬光編著・一〇八四年成立・全二九四冊)を所蔵しておりましたが、この書物の真偽が誰にもわかりませんでした。

そこで有造館の学者達は、保己一が伊勢に立ち寄る際に確かめてもらおうとなりました。読み上げ、すべてが終わると保己一は、文中に三か所の間違いがあると指摘し、居並ぶ学者たちは一同驚嘆したといえます。この話は、地元で長く語られていました。(嘉永二年・一八四九、十四年の歳月をかけて刊行、有造館版・全一四八冊) 保己一は日本の文献のみならず、中国の文献にも精通していたわけです。

## 顕彰会への加入・継続をお願いいたします。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会は、平成19年7月26日に市民参加による顕彰会として発足いたしました。顕彰会では、塙先生の遺徳と事績を広く顕彰し、その精神の普及を図ります。毎年、命日の9月12日に塙先生の遺影に菊の花を捧げる顕彰祭を開催するほか、説明会など各種啓発事業を行っています。

みなさまのご加入・会員継続をお待ちしております。

**年会費** 個人会員 一口 千円、賛助会員(団体) 一口 一万円  
**入会と会費納入の受付場所** 本庄市役所4階生涯学習課と本庄市児玉文化会館(セルディ)、アスパアこだま内の児玉公民館で受け付けています。

※ 郵便振替でもお申込みいただけます(ご希望の際には、下記へご連絡ください)。



**発行** 総検校塙保己一先生遺徳顕彰会  
**事務局** 本庄市教育委員会 生涯学習課 本庄市児玉文化会館(セルディ)内  
**所在地** 〒367-0216 埼玉県本庄市児玉町金屋728-2  
**電話** 0495-72-8851 FAX 0495-72-8854

※点訳ボランティアグループ「ほきの六点会」の皆様により会報誌の点字翻訳版を作成していただきました。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

ごあいさつ

短い秋が過ぎ、日々寒さ深まる季節となりましたが、会員のみなさまにはご健勝にてご活躍のことと拝察いたします。

今年は、「塙保己一を講談で聴く会」実行委員会が本庄市の有志の方々により結成され、市内二か所で講談会が開催されました。そのご縁で、顕彰祭には講談師の「神田山緑氏」をお迎えして講談を行いました。講談とは古くから続く寄席演芸の1つですが、塙保己一が登場する「奉行と検校」の演目はみなさんに感銘を与える内容で江戸時代から長く語り継がれています。

さて、12月14日には、塙保己一の精神を受け継ぎ、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方、又はこのような障害者のために様々な貢献をしている方に「塙保己一賞」をお贈りする表彰式がセルディで開催されます。本年も4人の方の受賞が決まりました。表彰式のあとには、催物もごさいますので、みなさまにはぜひご来場くださいますようご案内申し上げます。

総検校塙保己一先生遺徳顕彰会  
 会長 吉田 信 解

## 第13回 塙保己一賞表彰式・記念コンサート&トークを開催

埼玉県では郷土が生んだ偉人「塙保己一」の精神を受け継ぎ、障害がありながらも不屈の努力を続け社会的に顕著な活躍をしている方や障害者を献身的に支援している方を表彰する塙保己一賞表彰式・記念講演を下記のとおり開催します。

【本庄市共催】入場無料です。

【日時】 令和元年12月14日(土) 13時～15時30分

【会場】 本庄市児玉文化会館(セルディ)ホール

【時間】 開 場 12時30分  
表 彰 式 13時から  
記念コンサート&トーク 14時20分～15時30分

【内容】 出演者 シンガー 大石亜矢子氏  
弁護士 大胡田 誠氏

(第12回塙保己一賞奨励賞受賞)

曲目(予定) ・Amazing grace!、糸、365日の紙飛行機 ほか

※ パートナーであるお二人の歌と講演をお楽しみください!



### ◆今年の受賞者のみなさん◆ (敬称略)

大賞：生駒 芳久

(和歌山県在住 全盲の精神科医)

視機能低下により、民間会社を退職後、医科大学に進学し精神科医となる。

平成27年、厚労大臣表彰(精神保健福祉事業功労者)を受賞。

奨励賞：片岡 亮太

(静岡県在住 全盲の和太鼓・パーカッション奏者)

上智大学文学部社会福祉学科卒。社会福祉士の資格も取得。

国内外でコンサート・講演・ワークショップを実施。

奨励賞：石田 由香里

(北海道在住 全盲のJICA職員)

国際基督教大学教養学部卒。英国・サセックス大学院修士課程修了。

外務省NGOインターン・プログラムに視障害で初採用、比国のNGO勤務も経験。

貢献賞：株式会社名取製作所

(福祉分野の開発を目標に、スポーツ義肢部品等の設計・製作を手掛ける。)

昭和24年社長の祖父が創業。高度な金属加工技術で自動車部品を製造。

平成20年社長就任以降、選手にあった競技用義肢等を開発。

### ～～ 塙保己一先生江戸ゆかりの地をたずねて ～～



温故学会にて

顕彰会と市民総合大学の連携事業として「塙保己一先生江戸ゆかりの地をたずねて」バスツアーを9月24日(火)開催したところ34名が参加されました。渋谷区にある塙保己一資料館で公益社団法人温故学会の齋藤幸一理事長にお話を伺った後に、平河天満宮、愛染院、和学講談所跡、牛が淵などを案内いただきました。

## 塙保己一記念館に新しいパネルが展示されました。

2021年の大河ドラマの主人公に財界人として初めて決定した『渋沢栄一』ですが、2024年発行の新一万円札の「顔」としても注目されています。武蔵の国北部出身者として同郷意識があり、尊敬していた塙保己一との関係が解説されたパネルが展示されています。ぜひご覧ください。

## 渋沢栄一と塙保己一

渋沢栄一は近代日本経済の父と呼ばれるように、数々の功績を残した大人物です。現在埼玉県が顕彰する三偉人の一人であることはよく知られています。

渋沢栄一は、塙保己一の遺徳の顕彰や保己一が遺した群書類従の版木の保存等に大きな働きをしたことも知られています。

栄一は東京の温故学会の設立にも深く関与し、昭和2年(1927)に会館を建設し、その開館記念式典でこう述べています。

「(前略)故塙先生の事業、且つ古今に稀なる群書類従の版木に残っておりますのを後代に伝えたいと云ふことが我々塙先生と生地を同する者には、此念慮が別して深かったのでござります。(後略)」

保己一と栄一は同じように武蔵国北部の出身でした。式辞にあるように「生地を同する者」という尊敬する塙保己一との同郷意識が強くあったものと思われます。



### 渋沢栄一は塙保己一のことをどう思っていたのか

栄一は保己一の能力や人となりについて、どのように考えていたのでしょうか。

1. 抜群の記憶力を持っていた
2. 強い精神力であった
3. 活発な行動力を持っていた
4. 清廉潔白で質素儉約であった
5. 何事にも怒らず、人の意見によく耳を傾け、また人の為心に心を尽くした
6. 機転が利き、心に余裕を持ちユーモアがあった

などを、保己一の優れた点を多くあげています。

この内1の記憶力は保己一が生まれながらに強い資質を持ち、かつ本人の努力で一層高めていったものでした。それ以外は保己一は生涯努力を怠らず実践していったことでした。

また、栄一は保己一のことを次のように語っています。

「檢校(塙保己一)は一面より見ると、学者であり、知識人であり、また歌人である。しかし、別の面から見ると、実業家であり、同時に政治家でもあった。」

保己一は国学者として活躍し、和学講談所を開いて教育者としても活動したことに加え、さらに和歌を学び、群書類従の編さんでは多くの和歌関連書物を収録しました。また群書類従刊行のために多くの借財をして出版事業を行ったことは実業家の仕事であり、当道座の総檢校に昇進し、当道座の運営や群書類従編さんの資料調査等で幕府や御三家、さらに大寺院や神社との交渉も度々行っていました。栄一は保己一のこうした事績から、上記のように話したのではないのでしょうか。

栄一は、記憶力以外は自らも実践していったことなので、若くして学んだ論語の世界と、塙保己一の生き様は、正に自分の人生哲学に強く関わっていたものではないのでしょうか。

参考 「温故学会五十年史」(昭和32年)、「温故叢史」57号(平成15年)ほか  
画像提供 渋沢栄一記念館